

週報

国際ロータリー・テーマ

ロータリーは分かちあいの心

Vol.41 第1997回例会

2007.9.27



今年度会長テーマ

ロータリーは楽しさを分かちあい
 ロータリーに楽しさを分かちあい
 新しい仲間の輪を拓けましょう 皆さまとともに

■司会：
高橋例会運営副委員長



■点鐘：樺澤会長

■合唱：ロータリーソング
「それでこそロータリー」

◆ソングリーダー：村田会員



■お客様紹介：
土方パスト会長



◆ゲスト：東京葛飾東RC 伊藤福松様
齋藤 功様
東京小平RC 藤森清明様
津久井RC 山本芳昭様

◆ビジター：
入会予定者：吉川武男様

いました。この若さをいつまでも保ってご活躍を
 祈念申し上げますと共に、ご指導、ご鞭撻をよろ
 しく願います。

去る22日ですが、地区青少年交換委員会の派遣学
 生の帰国報告会に野澤副委員長のお供で参加して
 まいました。たまたま、我がクラブの来日学生
 であったペトラの友人で、私の家に何回か来られ
 ました武蔵野女子学院の早田さんがアルゼンチン
 から帰国報告されました。

派遣前は幼いお嬢さんが地球の裏側まで大丈夫か
 かなと思いましたが、立派に親善大使としての役割
 を果たしてこられました。青少年交換は素晴らしい
 奉仕活動と感じ、委員の皆様のご苦勞に感謝申
 上げます。また、大和撫子も強くなったなあと
 感心しています。

■幹事報告

河野幹事

■国際ロータリー：

10月のロータリーレート
1ドル=116円

■青少年育成委員会：

(在京)青少年育成に関する
会議の案内

10月12日(金) 14:00~16:00 会議
16:30~ ガーデンパーティ
於 和敬塾

■ロータリー財団委員会：

11月ロータリー財団月間卓話者決定のお知らせ
11月1日(木) 馬越恵美子様

■東京東大和RC：

第3回多摩分区連絡会の案内
2007年10月23日(火) 午後4時~
於 東京東大和RC例会場

■バギオ基金：

バギオ訪問への参加のお誘いについて
第29回バギオ訪問(ホスト：東京国立白梅RC)
平成20年2月22日(金)~25日(月)
代金 ¥175,000(エコノミークラス)



■会長報告

樺澤会長

今日は東西の遠方よりお客様に
 ご来会戴き、名月に 朋あり 遠
 方より来たる また楽しからずや
 の心境です。

東京葛飾東RCの伊藤様、齋藤
 様、遠路、地区大会のご案内に
 ご来会戴きありがとうございます。私も東京
 東村山RCでは全員登録し、全員で参加するよう
 に努めて参ります。お世話になりますのでよろし
 く願います。

目時様、古希をお迎えになり、改めてお祝い申し
 上げます。先日はお招きを戴き、ありがとうござ



■例会日/毎週木曜日 12:30~13:30

■例会場/八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会/相羽 正 小林 学 田中 重義

■事務所/〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500

■ロータリー財団委員会：

「わかりやすいロータリー財団」CDの受理
(ロータリー財団セミナーでの試写資料)

■ロータリー米山奨学会：

- 米山月間資料の受理
- 1. 理事長交替挨拶
- 2. 豆辞典
- 3. 米山学友の群像(第2号)
- 4. クラブ米山奨学委員長用手引書
- 5. 2006年度事業報告書
- 6. 統計・資料
- 7. 2005年度決算報告書

■日本UNHCR協会：

卓話の希望について

■回覧：

「友」インターネット速報 No.304
武蔵野女子学院 ニュースレター

■例会変更：

東京リバーサイドRC
2008年2月21日→夜間例会

◆樺澤会長、河野幹事：

葛飾東RC斎藤様、伊藤様遠路お越し
いただきありがとうございます。

◆斎藤様：

本日は当クラブよりわざわざお招き
いただきありがとうございます。

◆小林会員、相羽会員：

吉川様ようこそいらっしゃいました。
早期の入会を心よりお待ちしております。

◆伊藤様：

地区大会宜しくお祈りします。

◆藤森様：

初めてメイクに伺いました。本日は
宜しくお祈りします。

◆町田会員：

日時さん先日はレセプションに招待
賜りありがとうございます。

◆田中会員：

ベスグロの田中です。先日のFRC
コンペ～

◆山本会員：

日時さん先日はご馳走様でした。

本日のニコニコ合計： 61,000円
累 計： 532,000円

■出席報告 石山例会運営委員

在籍会員数	出席	免除	欠席	出席率
40	32	0	8	78.95

■前々回メイクアップ修正後

前々回欠席：3名

■前々回出席率

メイクアップ修正後：92.11%

■前々回メイクアップ者：

- 相羽会員 清瀬RC
- 恵面会員 米山委員長会議
- 北久保会員、熊木会員 所沢西RC
- 日時会員 所沢RC
- 村田会員 東大和RC
- 野崎会員 武蔵村山RC
- 竹田会員 地区委員会



■お客様挨拶 東京葛飾RC 伊藤福松様

地区大会、皆様の参加よろしく
お願いします。



■委員長報告

■當麻直前会長

昨年の40周年記念事業、西武ド
ームでの野球大会が意義ある業
績賞を戴くことに決定致しまし
た。この賞は地区で一クラブだ
けに戴ける名誉ある賞です。全会員の皆様、本
年度樺澤会長、河野幹事の絶大なるご協力に感
謝致します。当クラブでは初めての受賞となり
ます。



■相羽クラブ管理委員長

親睦旅行10月21日(日)22日(月)
現在、会員24名、夫人9名とな
っております。
来週で締め切りますので、参加
をお待ちしています。



■ニコニコBOX 熊木クラブ管理委員

■皆出席：北久保会員(10回目)
野村会員(5回目)



◆當麻会員：クラブにとってとて
も嬉しい報告です。
後程、内容ご説明い
たします。



◆日時会員：先日は私の「古希を
祝う感謝の会」にご出席戴きありが
とうございます。

「ガバナーこぼれ話」

◆樵沢会長とは、大学時代の友人
(昭和27年～31年卒)



校内野球大会(学友会主催)に1年生の時からクラスメートを中心に参加。チーム名は「サントニククラブ」。昔体内の寄生虫駆除薬にサントニンという薬があり、相手を下すという意味合いから名付けた。野球を通じで知り合った間柄なのです。

◆ガバナーエレクトセミナー(GETS)、国際協議会のこと

ガバナーとして国際ロータリーより正式に任命されるためには、ガバナーエレクト時にガバナーエレクトセミナー(GETS)に出席することが義務付けられている。これはゾーンレベルでロータリーゾーン研究会に合せて2日間のガバナーエレクトセミナーが開催され、これに出席してRI理事会とロータリー財団管理委員会で承認された議題をまとめて検討する。私どもの年度は、岡山県岡山市で一昨年11月に開催されました。また、国際協議会は昨年2月には、今迄アメリカ・アナハイムで開催されていたのですが、今回からアメリカ・カリフォルニア州サンディエゴにおいて開催されることになりました。世界168カ国より536地区のガバナーエレクトが非常にハードな研修を受けなければならぬ。人種も言語も服装も、そして習慣も違う人々がガバナーエレクト夫妻とRIの役員や会の運営にあたる関係者を含めて総勢1400名が一堂に会する協議会であり、国際協議会は私達にとってまさに目から鱗が落ちる体験でした。会場には「入りて学び、出でて奉仕せよ」との標語がホテルの入り口に大きく掲げられ世界各地よりのガバナーエレクトの皆さんに出会い、誰もがロータリーのインターナショナルを肌で実感する協議会でした。日本人の食生活とは異なり、どここの国の何を食べているのか分からない状態の食事にはほとんど参りました。さらに会期中の外出不能状態にはかなりの忍耐力が必要であると思う。会期中休日は半日のみで後はAM9:00～PM8:00ごろ迄の過密スケジュールであった。

◆半年がかりの公式訪問雑感

昨年7月19日を皮切りに12月22日の我がクラブの公式訪問まで6ヶ月にわたり、地区内63クラブの公式訪問を実施していました。午前11時40分より約30分、会長、幹事、そして次年度の会長、幹事を含めて、当面するクラブの諸問題について懇談をいたします。午後12時30分より通常の例会を開会していただき、午後1時より約25分私の卓話をさせていただきます。各クラブも人の顔が皆異なるように、どれ一つ同じクラブはなく、それぞれの特徴を持っております。ガバナーとして20名未満のクラブについては特に注意深く指導するよう指示されておりましたが、私どもの地区では該

当するクラブは3クラブでしたが、いずれも平均会合年齢は50歳台で、クラブはこじんまりしており会員同士の結束力は強く、むしろ新会員が入会してきて既会員の中に同化できるかどうか、その点を十分に配慮して欲しいと申し上げました。大半のクラブは、会長を先頭にしてクラブ役員が率先してクラブのリーダーシップを取っているクラブは活力があり魅力的なクラブとして生々と活動を展開していることにホッといたしました。

◆クラブ主導、地区支援について

私は昨年度の地区重点目標として、10項目を掲げましたがその第一に当たり前のことですが、「クラブ主導、地区支援」を掲げました。国際ロータリーは創立100周年を迎えました。組織の仕組みなどは素晴らしいと思いますが、一方では制度疲労を起こしている面もあるのではないのでしょうか。形骸化、マンネリ化など、こうした面を打破するため私達ロータリアンは改めて自らの足元を見直さなければならない時期なのではないのでしょうか。

◆会員増強について

私は昨年度地区重点目標の一つに「各クラブ純増1名以上とする」を掲げましたが、年度-33名になってしまいました。各クラブとも新会員獲得に力を入れてくれたのですが、退会者がそれより上回ってしまったという結果です。日本全国34地区ありますが、昨年度プラスは第2560地区(新潟県)100余名、第2840地区(群馬県)11名増で、あとの32地区いずれも会員減少で終わってしまいました。世界的に減少を続けているのはアメリカと日本くらいであとは現状維持か増加しております。

◆例会について

例会はロータリーに於いては、会員の「修練の道場」であると云われております。異業種の会員が1週間に1度例会に集まってきてお互いに切磋琢磨する場が例会です。メイクアップをするしないは或る程度習慣性的の問題だと思っておりますが、その効用は他クラブの例会の良い所を自クラブに持ち帰る、そして出来れば取り入れてもらう。その他、他クラブに知り合いが出来ることなどがあります。

◆親睦活動と奉仕活動について

ロータリーの親睦活動はあくまでもそれが目的ではなく、奉仕活動に繋げる手段として親睦活動があるわけで、そのところを誤解しているロータリアンが結構多い。従って、親睦活動と奉仕活動がクラブの車の両輪として具合良く回転しているクラブは魅力的で活性化しているクラブであると言えると思います。ロータリーの親睦活動がただ飲み食いすることだけが目的であるとするれば、ロータリアンは他にそうした場が沢山あると思われますので無駄ではないと思います。

■点鐘：樵沢会長